



## ルーテル 藤が丘だより

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会  
〒 227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 牧師 佐藤和宏  
tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009  
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp  
発行 月報編集委員会 発行日 2018年2月4日 No. 45



photo by Kaz Sato

また、唯一の主、イエス・キリストがおられ、万物はこの主によって存在し、わたしたちもこの主によって存在しているのです。

コリントの信徒への手紙一 8章6節b



## シリーズ説教

### 『神へ帰る』

牧師 佐藤和宏

マルコ1章21節～28節

コリント18章1節～13節

「偶像に備えられた肉を食べることについてですが」と本題に入っているのですが、ここでパウロがはつきりと言っているのは、「世の中に偶像の神などはない」ということです。なぜなら「唯一の神以外にいかなる神もない」からである、と明快にパウロは答えています。そしてパウロは、偶像に備えられた肉から「自由」とされた態度について、「我々は皆、知識を持っている」からであると言っています。その知識とは「唯一の神、父である神がおられ、万物はこの神から出、わたしたちはこの神へ帰って行く」こと、「唯一の主、イエス・キリストがおられ、万物はこの主によって存在し、わたしたちもこの主によって存在している」という知識なのです。

ところが、パウロはそこでどまらないうです。パウロは「神のもとへ導くのは、食物ではない」ことを明らかに

にしつつ、しかしそれでも「あなたがたのこの自由な態度が、弱い人々を罪に誘うことにならないように、気をつけなさい」と勧めているのです。

実はここで「自由」と訳されているギリシャ語は、福音の日課で「権威」と訳されている言葉になります。ですから、イエスが悪霊に取りつかれた男を自由としたように、この「自由な態度」もまた、縛られていた何かから解放された人の姿を表していると言えるでしょう。その自由は、すべては神から出、すべては主イエスによって存在している、つまりあらゆるものが神の御手のうちにあることを知っていることによるのです。これに対してそれを知らないために、未だ縛られたままの人々がいることも事実であり、彼らへの配慮も必要なのです。

「食べる自由が与えられているが、人をつまずかせないためならば、その自由を行使しない」。「わたしは自由であるが、人をつまずかせないために、その自由を行使しない」。パウロはどのように言っているのですが、これを聞いて、何か思い出しませんか？ そうです。「キリスト者の自由」にみる2つの命題です。「キリスト者は、す

べての者の上に立つ自由な君主であつて、だれにも服しない。」

「キリスト者は、すべての者に奉仕する僕であつて、だれにも服する。」

ルターはパウロの言葉を取り上げ、しっかりと理解できるようにと、2つの命題を掲げたのでした。2つの命題によって明らかにしようとした、パウロの言葉の一つがコリントの信徒への手紙19章19節になります。「わたしは、だれに対しても自由な者ですが、すべての人の奴隷になりました。」

「偶像に備えられた肉」に関するパウロの結論は次のようになるでしょう。「唯一の神がおられるだけで偶像の神はないのだから、偶像に備えられた肉は、普通の肉である。だから私たちはそれを食べる自由が与えられている。しかし、人をつまずかせないために、その人のために、その人に仕えるようにその自由を行使しない」。

これをルターは「キリスト者は、すべての者の上に立つ自由な君主であつて、だれにも服しない」。「キリスト者は、すべての者に奉仕する僕であつて、だれにも服する」と言っているのです。キリスト者は、真の権威の下であらゆる束縛から解放され自由を与えられた

者である。しかし、人をつまずかせないためにその自由を行使しないで、かえって人に仕える僕となるのです。

今日、私たちの教会では総会が開かれ、宣教計画をご提案させていただきます。そこで毎年確認するのが、教会規則に示される「教会の目的」になります。「この教会は、キリストの命に従つて、信仰の交わりをなし、福音の宣べ伝え、みことばを教え、愛による奉仕をなし、これらのことによつて神に仕えることを目的とする」。

私たち教会の群れは、「キリストの命令に従つて、神に仕える」ために存在しているのです。私たちは自由とされた者なのですが、人に仕えることを通して神に仕える、そのために、キリストが獲得してくださった自由を自分のために行使しないで、隣人のために用い、奉仕する群れなのです。その私たちが毎週、週の初めの日、日々の生活の場から礼拝の場へと招かれているのは、「神へと帰って」真の権威を再び知り、日々の生活において私たちが縛るすべてのものから自由とされて、再び「神から出て」喜んで神と人によって生きるようになるためなのです。

(顕現節第4主日)

## ■ホームカミングデー

○田○一郎

役員会で佐藤先生から藤が丘教会でホームカミングデーを開きたいと初めて聞いたときは、私にとつてはまるで雲をつかむような話でした。ホームカミングデーという名前は聞いたことがあっても、実際に何をやっているのかは知らなかったからです。それから佐藤先生の尽力によって、教籍簿の整理をして、教会と疎遠になっている古い教会員の方を見つけ、その方の住所を他の教会会員の方に教えてもらったりして探し出して案内状を送ることができました。そして11月26日には懐かしい十五人のゲストの方を迎えることができました。

当日の礼拝では世田谷新町教会の元牧師栗原茂先生が説教をしてください、礼拝後には昼食をとりながら新旧の教会員が懇談をしました。ゲストの方々おひとりおひとりから近況や昔の話をしていただき、また欠席された方で近況をお寄せいただいた方はその近況を披露しました。それに対して現教会員の方の何人かか

らも懐かしいお話をしていたいただきました。長い間会わなくなるとすぐに打ち解けてお話をされているのを見て、やはり教会員同士がキリストを通じて繋がっているんだなということを感じました。

最後に○田兄が作られた教会のテーマソング「藤が丘の坂」を皆さんで歌って、またお会いすることを約束してお別れとなりました。

この集いを契機にまた礼拝に出席されるようになった方がおられるのは、嬉しい限りです。このような交わりを私たちは大切にしていきたいと思えます。



## ■近況コメント集

ホームカミングデーのお誘いに出欠に関わらず、近況をお知らせくださいました皆さんのコメントをご紹介します。(以下教籍順・敬称略)

○田○(出席) お便りありがとうございます。ございました。皆様にお会い出来ますのを、楽しみにしております。よろしくお願いします。

○田美○子(欠席) 岡山へ引越して8年。近くの日本イエスキリスト教団の教会へ通っています。信徒は10人くらいですが、毎週礼拝を守ることができ充実した日々を過ごしています。

長谷○美(欠席) なんとか日々過ごしております。

山○雄(欠席) 世田谷の住処を立ち6年目。世田谷区民でありながら横浜の養老院にて暮らしています。自分の思いで外出はできません。11月26日の礼拝と交わりが、神様のめぐみと平安のうちに在りますように。

○谷信○(欠席) 懐かしい人々との交わりに参加できず残念ですが、みなさまによりしく！ 私は70歳に入りま



したが元気です。札幌北礼拝堂に所属。昨年受洗50年。感慨深いものです。今は教会内外で高齢者支援のボランティアを続けています。

○本○子(出席) 9月に孫が生まれました。95歳の母の介護で、泊まりがけで実家に通っています。

山○子(欠席) 東京を離れて30年になります。年も74になりました。脊柱管狭窄で腰や脚やらが痛みますが、元気にしております。週2回のリハビリで医者通いはしております。

武○子(出席) 久々の栗原先生の説教、楽しみです。



(旧姓) ○木○ (欠席) 旧姓○木○と申します。25年以上前に実家を出て、都内で夫と猫2匹と静かに暮らしています。何度が引越しを経験し、その度教会へ行って見ましたが、人見知りのため、馴染めず、また体調が良い方ではないため、今は行っていません。私の母校(恵泉女学園)とはつながっていますので、勝手にキリスト教とはつながっていると思っています。

田○理○子(欠席) 息子二人がアパート暮らしになり、夫婦二人で生活しています。教会の皆様にもよろしくお伝えください。

○利○子(出席) 10年位前より体調をくずし、現在も病院通いが続いています。藤が丘の教会には大変お世話になりました。

関○昌弘、○子(出席) よろしく

お願いします。

○谷○子(欠席) 30年前、藤が丘教会で導かれ、よきお交わりをいただきました15年間。当時の先輩方のお顔が思い浮かびます。今私は同じ年齢に達し(73歳)、光陰矢の如しを実感、そして感謝です。藤が丘教会のご発展をお祈り申し上げます。

○瀬啓○、○恵(出席) 歩いて楽しいまち、京都での生活を享受しています。近所を流れる高野川の川端を登ると修学院ルーテル教会です。徒歩では20分位です。小さい家族的な教会の交わりを楽しんでいます。

山○子(出席) 先日はカトリック藤が丘教会バザーにお越し頂き、皆様とお目にかかれました事をとても嬉しく存じました。又ホームカミングデイにお招きいただきありがとうございます。当日はカトリック教会での導き手であり、お友達のお田○子さまと共に伺わせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

○原○(欠席) ホームカミングデイ礼拝には出席できませんが、バザーにはお邪魔させていただきます。

○田裕○(出席) ご招待ありがとうございます。皆様にお会いできるの



を楽しみにしております。

○田○和、○希子(欠席) ご無沙汰しています。気がつけば、藤が丘教会を離れ、20年以上たっていました。楽しい充実した教会生活でした。ご発展をお祈り申し上げます。

○田○子(出席) 昨年のクリスマスに、日本長老教会菊名西教会へ転籍しました。藤が丘の頃、CSの生徒だった長女に3人、次女に1人の子が恵まれ、孫が4人います。

○田○子(欠席) ご無沙汰しています。お声をかけていただき、たいへん嬉しく思っております。結婚した頃、5年ほど藤が丘教会にお世話になり、江口先生から小児洗礼をいただいた長男も23歳になりました。今は教団の南甲府教会で教会生活を送っております。藤が丘の皆様が健康が支えられ

ますよう、山梨からお祈りしております。いつか伺いたいと思います。

○田純○(欠席) お招きいただき、ありがとうございます。にもかかわらず、欠席で申し訳ありません。当日は「大牟田合唱祭」が開催され、私の所属する合唱団も出演しますが、男性が少なく私が抜けるわけにはいかないものです。私の方は体のあちこちにガタがきて、脳力も衰え、一方もの探しの時間は増え、何をやるにも効率が悪く、処理能力が悪くなり、結果的に多忙な毎日です。教会は少数高齢化で、私一人で全役員、女性の仕事も担っています。どうか、主の恵み豊かなHolyとなりませう！

○野○子、○由美(欠席) ホームカミングデイと全聖徒主日礼拝のお誘





いありがとうございます。早いもので主人が逝きましてから2年が過ぎました。おかげさまで周りの方々に助けられながら、○由美と二人元気にしております。日々、○由美の笑顔に癒され、支えられ、二人で無事に過ごしていただけること、感謝しております。

○田○ツ子(欠席) 病氣入院中にてせつかくのお誘いなのに出席できず申し訳ありません。礼拝を賛美いたします。

○野昇、○子(出席) ホームカミングデイにお誘い下さり有難うございます。後期高齢者にとっぴり漬かり何とかマイペースの日々を送っています。貴教会に主の豊かな祝福がありますようにお祈りさせていただきます。

○田○子(出席) 長崎から帰った直後なので、ちょっと体調が気になります。

○水○子(欠席) こんにちは。ご無沙汰しております。残念ながら、その日は仕事のシフトが入っているので、参加できません。子ども二人は成長し、自立して、もう家を出ていきました。今は夫婦二人で新婚時代に戻った感じですが。

高見○し子(欠席) お祈りありがとうございます。このところ、体調が良くなって、その日暮らしです。ご無沙汰をお許しください。もう藤が丘の坂は登れそうにありません。ごめんなさい。

田○子(欠席) 26日は緑園教会の総会傍聴を予定していますので、欠席させていただきます。皆様どうぞよろしく。

藤○せ○子(欠席) ステキな企画ですね! 皆様にお会いしたいのは

山々ですが、主人の健康上、出席できそうにありません。田舎(築124年)と市内のマンションの二重生活が年のせいもあり、疲れますが、古布のキルト削りを楽しみに、熊本でがんばっています。教会のご発展を祈りつつ。

○子(欠席) 週報を送っていただき、いつも皆様と共に在るような気持ちで過ごしております。今は天に居られるなつかしい方々を思い、皆様の祈りの中で守られ導かれていく幸いを感じます。日毎に秋の深まりを覚えます。今日までの日々を感謝しておりますが、高齢なため今回は欠席させていただきました。くことにいたしました。教会の発展と皆様の健康を祈ります。

吉○努、○杷子、寛○(欠席) 夫が自宅療養中のため、出席できず、残念です。イースターの皆さんの写真と寄せ書きは、夫の病室の壁に張って、いつも元気をいただ



いています。本当にありがとうございました。

藤○美○子(欠席) 在主。パーキンソン病の進行激しく、グットタイムホームに去る5月に入居しました。皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。お誘いありがとうございます。

## ■投稿 中国・青島の思い出

④

○藤○子

日清紡は中国人労働者を多く使っていたので、変わらず稼働。父も元の職場に戻った。

その父を頼って除隊した同期兵が5人、日本へ帰るからと訪ねて来た。その人たちに衣類、缶詰（日清紡は倉庫に缶詰、食料品が豊富にあった）を渡し見送っていた。その姿を見て、同じピンタを受けた仲間だろうか、親しまれていた父を改めて見直していた。

10月に中国政府から技術全般を指導してほしいとのことで、職員38人

### ■女性会だより

1月21日 礼拝後に開かれまして。参加 16名

聖書の学び サムエル記上2章 6〜8節「キリストの愛の高さ」

～人の思いを超えた  
神様の恵について～

女性会総会 2017年度 活動報告と会計報告 2018年度担当役員の出および教会内外の活動について確認

の中、父と6人が残り、身辺保護されながら指導、残務整理をすることになった。

社宅は歯の抜けたように灯りが消えて行き、寂しくなった。

学校へは行けなくなったが、職員の夫人で白蓮と同じ時代の教育者がいて、ピアノでローマ字の勉強、国語算数など、おやつを食べながらの勉強、学校よりずっと楽しかった。

21年6月、仕事完了し、いよいよ内地へ帰ることになり、家族のような子守り、ボーイ、アマさんとも別

れ、子守りの両親も別れに来た。父は、好きなのをどうぞと家財を持って行ってもらった。

帰国する時、一人布団3枚柳行李1個と大きなリュックと優遇され、米英鬼畜と言ったアメリカ人に港まで送られ、アメリカの上陸用船艇で帰国した。

5歳から青島で両親の元で、幸せいっぱいになり、ドイツ人、白系ロシア人、中国人と仲良く過ごした故郷である。

そのふるさとへ気楽に行けなくなったのは、悲しく残念だ。青島ビールも美味しいのに……。

### ■フェイスブックで、礼拝ライブ中継を始めました。

昨年11月より、教会のフェイスブック(上の画像)を始めました。様々な情報を発信してまいりたいと思います。また昨年の12月より、フェイスブックの機能を活用して、毎週日曜日の朝10時半より、礼拝が生中継されています。

礼拝はどんな感じだか知らない方が見て、興味を

持っていただけなら嬉しいですね。また様々な事情で礼拝に来られない方や他教会の方が、離れた場所でも礼拝を共に出来るようにと、礼拝の中継を始めました。どうぞご利用ください。また、お知り合いやお孫さんにご紹介ください。そしてぜひ「いいね」をお願いします。

## ■教会の動向



### ■1月の教会

1日は新年礼拝、7日は、今年最初の主日礼拝がありました。礼拝では聖餐式、こどもメッセージがありました。礼拝後、定例役員会が開かれました。10日はお仕事会でした。11日、16日には洗礼後の学びをいたしました。14日の礼拝後、「ルターと宗教改革」(昨年、全米で放映されたドキュメンタリー番組)を鑑賞しました。17日は聖研がありました。21日の礼拝後、女性会総会が開かれ、新役員が決まりました。会長、副会長、書記は前年と同様で、会計に小○さんが選ばれました。また、女性会総会終了後、教会総会資料の発送作業をいたしました。25、26日には、佐藤牧師は信徒訪問をし、田○さんと聖餐に与りました。28日の礼拝後、教会総会が開かれました。新たな一年を新役員を中心に、信徒一同、祈りつつ歩み始めてまいります。礼拝に初めてのお越しは、○野○さんでした。主の祝福をお祈りします。とても寒い冬ですね。皆さん、お体ご自愛ください。